

提供日 2021/10/14
タイトル 逢初川土石流「発生原因究明作業チーム」より～地質調査の実施状況について～
担当 交通基盤部 河川砂防局砂防課
連絡先 傾斜地保全班
TEL 054-221-3043



逢初川土石流「発生原因究明作業チーム」より ～地質調査（ボーリング）の実施状況について～

逢初川土石流「発生原因究明作業チーム」では、第1回逢初川土石流の発生原因調査検証委員会（9月7日開催）の議論を踏まえ、地質調査（ボーリング）などの各種調査を実施しています。

1 地質調査の目的

以下を把握するために地質調査（ボーリング）を実施します。

- ・盛土や各種地層の厚さ
- ・土の特徴や強度
- ・地下水の流れの方向

2 実施箇所及び実施状況

- ・添付図面に赤着色した3箇所を実施しています。
- ・10月13日現在の掘削状況は以下のとおりです。

調査地点	掘削深度	計画深度
No.1	34m掘削完了	34m
No.2	21m	40m程度
No.3	機材設置中	40m程度

3 調査結果の公表

地質調査（ボーリング）を含め今後実施する各種調査の結果は、砂防課のホームページに随時公開していく予定です。

逢初川土石流の発生原因調査に関する地質調査(ボーリング)実施状況(10月13日現在)

地質調査(ボーリング)の目的

以下の点を把握するために地質調査(ボーリング)を実施します

- ・どのような地層が、どのくらいの厚さで堆積しているのか
- ・土はどのような特徴があり、どのくらいの強度があるのか
- ・地下水はどこにあり、どのように流れているのか



地質調査(ボーリング)でわかること

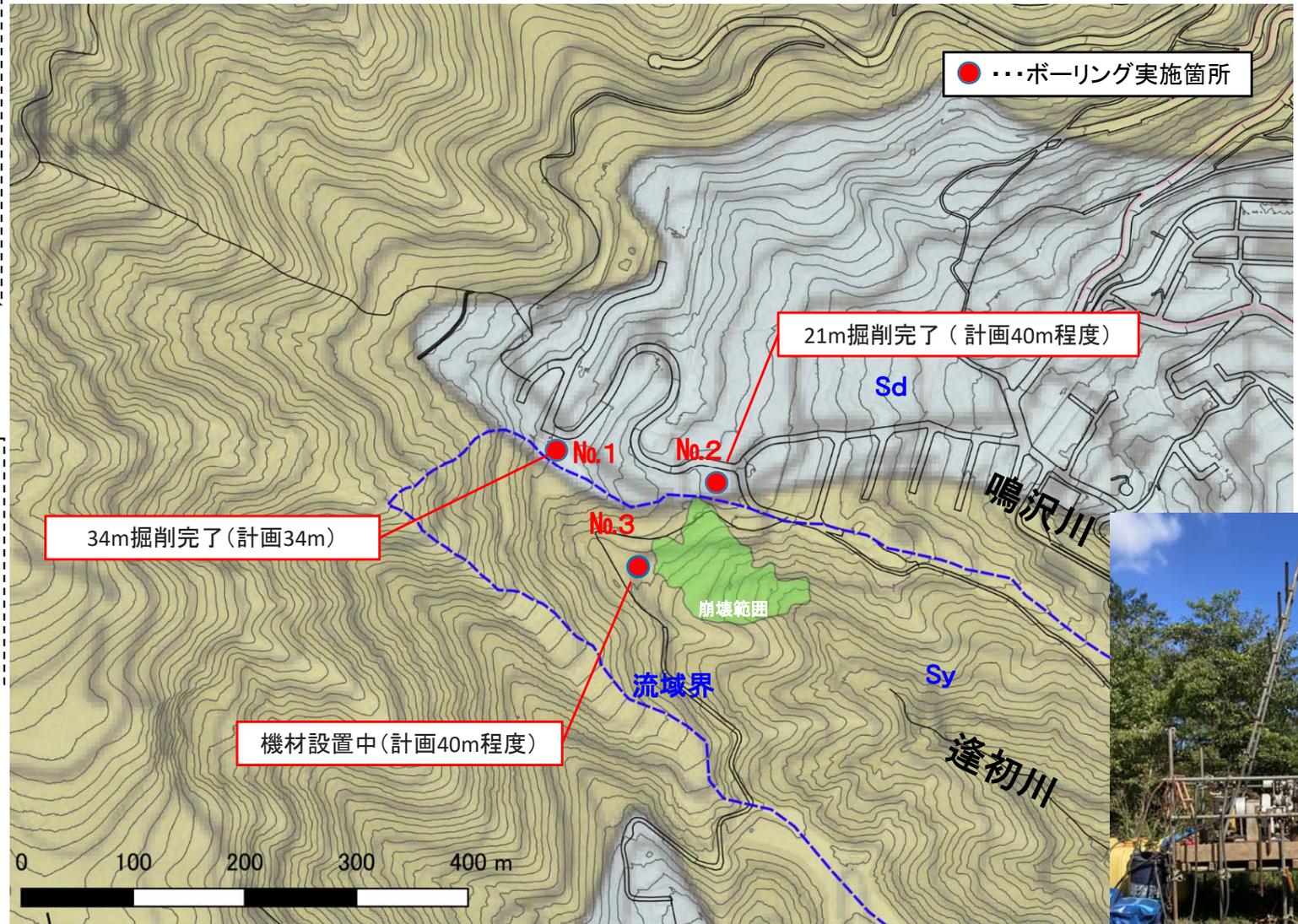
- ・ボーリングで採取した土から地層の種類と厚さ
- ・ボーリングで採取した土で各種土質試験を実施し、土の特徴や強度
- ・ボーリング孔の地下水位等から地下水の流れの方向

5万分の1地質図幅
熱海

 Sy: 中期更新世の安山岩—玄武岩質安山岩溶岩及び火砕岩

 Sd: 後期更新世—完新世の、山地緩斜面堆積物(礫及び砂からなる)

※Sdは岩戸山等の古い崩壊地の堆積物と考えられる。



No.1ボーリング実施状況